

教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

各セメスターの学修目標

1 年次春期

全学共通

- ① 本学の建学の精神と教育目標を理解し、今後の大学生活の基盤を形成する。
- ② 大学生の学びを自覚し、4 年間の学習目標を立て、学習計画を作成する。
- ③ 大学での学びに必要な知識とスキルを修得する。
- ④ 日本語の基本的な語彙力と文章力を向上させる。
- ⑤ 情報化社会における基本的なルールとスキルを身につける。

人文学科

＜グローバル英語コース＞

- ① コミュニケーションのための英語を念頭に、英文法のおさらいと実践力の向上をめざす。
- ② 春期末に TOEIC を受験し、自分の英語力を確認する。

＜中国語中国文化コース＞

- ① 中国語運用の基礎力を養成するとともに、東アジア領域の文化知見を修得する。
- ② 2 年次までに HSK4 級を取得することを念頭に、着実に語彙力を増強し、検定対策スキルを修得する。

＜教員養成コース＞

- ① 教職とはどのような仕事であり、どのような社会的責任があるかについて学ぶ。
- ② 教育の理念や教育の歴史について学ぶ。
- ③ 2 日間の小学校体験活動を通して、教職に対する理解を深める。

＜人文総合コース＞

- ① 日本の文学と歴史の基礎的な知識を身につける。
- ② 日本語や日本文化及び異文化を理解するための基礎的な知識を身につける。

＜国際日本コース（留学生）＞

- ① 日本で大学生活を送るための基本的な知識や心構えを身につける。
- ② 大学の講義を受講するのに必要な日本語の基礎固めを行なう。
- ③ 留学生向けの科目を中心に受講することによって、日本の社会と文化に関する基礎知識を身につけるとともに、日本語での授業に慣れる。

1 年次秋期

全学共通

- ① コミュニケーション力を基礎とした社会的能力を身につける。
- ② 情報化社会における情報発信の基本的なルールとスキルを身につける。
- ③ 社会人となるための心構えや進路の可能性について学ぶ。
- ④ 日本語の文章力をさらに向上させる。

<グローバル英語コース>

- ①TOEIC スコアに応じたレベル別のクラスで、英語4技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）を向上させる。

<中国語中国文化コース>

- ①視聴に特化した授業を通して中国語運用の基礎力を定着させるとともに、より専門的な東アジア領域の文化知見を修得する。
- ②2年次までに HSK4 級を取得することを念頭に、着実に語彙力を増強し、検定対策スキルを修得し、年度内に HSK3 以上を取得する。

<教員養成コース>

- ①日本の教育制度の特色について学ぶ。
- ②教育心理学や教育方法論等を通して生徒の発達段階に合わせた指導の方法について学ぶ。
- ③小中学校における教育インターンシップを行ない、教職に対する関心を深める。

<人文総合コース>

- ①各分野の魅力・面白さを理解し、各領域の基礎知識を学修する。
- ②日本文学や日本文化に対する読解・分析力を身につける。

<国際日本コース（留学生）>

- ①日本で大学生活を送るための基本的な知識や心構えをさらに充実させる。
- ②1年次春期に引き続き、大学の講義を受講するのに必要な日本語の基礎固めを行なう。
- ③留学生向けの科目を中心に受講することによって、日本の社会と文化に関する知識を広げるとともに、日本語での授業に習熟する。
- ④日本語能力試験の上位級に合格し、2年次春期以降の学修計画を立てる。

2年次春期

全学共通

- ①論理的な思考力を養い、現代社会における適応力を身につける。
- ②日本の伝統と文化に対する理解を深めるとともに、欧米やアジアの文化を広く学ぶ。
- ③自分の目指すキャリアを見据えた学修計画を立てる。
- ④目標とする資格試験・検定試験に向けて対策に取り組む。

<グローバル英語コース>

- ①TOEIC スコアに応じたレベル別のクラスで、英語4技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）を向上させる。
- ②日本語と英語を交えた授業を通じて、英語はツールである意識を高める。

<中国語中国文化コース>

- ①視聴に特化した授業や、実践的な中国語運用を自立的に考えながら発信する授業などを通して、活用可能な中国語コミュニケーション力（知見と技術力）を修得する。

- ② 3 年次に HSK5 級以上を取得することを念頭に、着実に語彙力を増強し、検定対策スキルを修得し、
HSK4 級を確実に取得する。

＜人文総合コース＞

- ① 日本文化の諸分野に関する通時的理解を形成する。
② 研究方法に関する知識を獲得する。

＜教員養成コース＞

- ① 国語科・英語科の教科の指導の方法を学ぶ。
② 特別支援教育論や ICT を活用した教育の理論と方法等を通して生徒の発達段階に合わせた指導の方法について学ぶ。
③ 小中学校における教育インターンシップを行ない、教職に対する理解を深める。

＜国際日本コース（留学生）＞

- ① 日本語科目や留学生向け科目を通じて日本語運用能力の向上を図る。
② 日本の歴史や伝統文化に対する理解を深める。
③ 日本語能力試験の上位級に合格する。
④ アカデミックな文献を講読できるようになる。

2 年次秋期

全学共通

- ① 時事的な問題に関心を持ち、一般学生は「時事研究」を履修してニュース時事能力検定試験 2 級ないしは 1 級の合格を目指す。
② 3 年次（第 5 セメスター）以降の学習目標と学習計画を立てる。
③ プレゼンテーションの基礎的なスキルをマスターする。
④ 目標とする資格試験・検定試験に向けて対策に取り組む。

＜グローバル英語コース＞

- ① TOEIC スコアに応じたレベル別のクラスで、英語 4 技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）を向上させる。
② 主に英語を使う授業を通じて、英語の語彙力を高める。
③ TOEIC 470 点以上を目指す。

＜中国語中国文化コース＞

- ① 視聴に特化した高度な授業や、実践的な中国語運用を自立的に考えながら発信する授業などを通して、活用可能な中国語コミュニケーション力（知見と技術力）を確実に修得する。
② 3 年次に HSK5 級以上を取得することを念頭に、着実に語彙力（1200 語）を修得し、検定対策スキルを身につけ、HSK4 級を確実に取得する。

＜人文総合コース＞

- ① 世界の中の日本文化という視点を獲得し、他国の文化を理解する。

②研究方法の実践的運用を目指す。

＜教員養成コース＞

①国語科・英語科の教科の指導の方法を学ぶ。

②道徳における指導の理念と指導の方法や教育相談の目的や方法について学ぶ。

③小中学校における教育インターンシップを行ない、教職に対する理解を深める。

＜国際日本コース（留学生）＞

①日本語科目や留学生講義科目を通じて日本語運用能力のさらなる向上を図る。

②日本の歴史や伝統文化に対する理解をいっそう深める。

③日本語能力試験の上位級に合格する。

④アカデミックな文献を講読できるようになる。

3 年次春期

全学共通

①アカデミアゼミにおいて専門的な調査・研究をスタートする。

②自身の専門以外にも、広い教養を身につける。

③自己分析によって自分の適性・希望を把握し、それに応じた企業研究を行なう。

④自分の目指すキャリアと今の実力との間の差を認識し、対策を立てる。

＜グローバル英語コース＞

①英語で理解し、英語で考え、英語で発信する力を身につける。

②様々な分野を英語で学ぶ授業を通じて、ディスカッションやプレゼンテーションなどの活用スキルを磨く。

③TOEIC スコアのさらなるアップを目指す。

＜中国語中国文化コース＞

①専門分野に特化した授業を通して中国語運用力の向上を図り、アカデミアゼミにおける自立的な研究により東アジア知見の深化を目指す。

②中国語による高度な作文能力を養成する授業を通して、語彙力（単語 2400 個）および表現力を修得し、3 年次に HSK5 級取得を完了する。

＜教員養成コース＞

①国語科・英語科の教科の指導の方法をより実践的に学ぶ。

②小中学校における教職インターンシップを行ない、教職に対していっそうの理解を深める。

＜人文総合コース＞

①自分の専攻したい分野を決定する。

②自分の専攻したい分野の専門知識を修得する。

＜国際日本コース（留学生）＞

①2 年次秋期までに身につけた日本語の基礎力を実践力へと発展させていくことを目指す。

- ②自分の研究課題に応じたアカデミアゼミに所属し、研究を始める。
- ③日本語で行なわれる授業科目を通じて教養を身につけ、日本語科目を通じて日本語でのアカデミックな文章作成能力を向上させる。
- ④日本での就職を目指すための講座を通じ、心構えと必要な知識を修得する。
- ⑤アカデミックな文献を講読できると同時に、自律的に問題意識を持つようになる。
- ⑥日本語能力試験 N1 合格を目指して学修を進め、受験に挑戦する。

3年次秋期

全学共通

- ①アカデミアゼミにおいて専門的な調査・研究を進め、成果を発表する。
- ②自身の専門以外にも、広い教養を身につける。
- ③面接、エントリーなど就職活動に向けて具体的な準備を始めるとともに、必要なスキルを身につける。

<グローバル英語コース>

- ①受動的な英語学習から能動的な英語学習を心がけ、興味のある分野を自主的に学ぶ姿勢を身につける。
- ②TOEIC スコアのさらなるアップを目指す。

<中国語中国文化コース>

- ①専門分野に特化した授業を通して中国語運用力の向上を図り、アカデミアゼミにおける自立的な研究により、卒業後の進路を見据えた専門領域の深化を目指す。
- ②中国語による高度な作文能力を養成する授業を通して、語彙力（単語 2400～5000 個）および表現力を修得し、3年次に HSK5 級以上取得を完了する。

<教員養成コース>

- ①国語科・英語科の教科の指導の方法をより実践的に学ぶ。
- ②介護施設や特別支援学校において、介護体験を行なう。

<人文総合コース>

- ①専攻する分野の知識を確実なものとする。
- ②資料・文献読解能力を向上させる。

<国際日本コース（留学生）>

- ①3年次春期に引き続き、日本語の実践的能力のさらなる向上を目指す。
- ②アカデミアゼミでの研究を進める。
- ③日本語で行なわれる授業科目を通じて教養を身につけ、日本語科目を通じて日本語でのアカデミックな文章作成能力を向上させる。
- ④日本での就職を目指すための講座を通じ、心構えと必要な知識を修得する。
- ⑤自らの問題意識を適切な日本語を用いて発信することができるようになる。
- ⑥日本語能力試験 N1 合格を目指して学修を進め、受験に挑戦する。

4 年次春期

全学共通

- ①アカデミアゼミで研究を進め、卒業研究または卒業論文の骨格と土台を作る。
- ②自分の希望進路に向けて具体的行動を取り始める。

<グローバル英語コース>

- ①就職活動に必要なレベルまで英語力を高め、TOEIC の高スコア到達を目指す。

<中国語中国文化コース>

- ①専門分野に特化した授業を通して、中国語運用力を実践的に活用できるようにする。アカデミアゼミにおける自立的な研究により、卒業後の進路を見据えた専門領域のさらなる深化を目指す。
- ②中国語による高度な作文能力を養成する授業を通して、語彙力（単語 2400～5000 個）および表現力を修得し、HSK5 級以上の取得を完了する。

<教員養成コース>

- ①教育実習のための事前指導、教育実習後の事後指導を受ける。
- ②中学校や高等学校において、教育実習を行なう。

<人文総合コース>

- ①専攻分野から日本文化の歴史的・現代的側面をとらえる。
- ②資料・文献を効果的に用いる能力を身につける。

<国際日本コース（留学生）>

- ①適切な日本語表現を用いて、さまざまな課題を遂行する能力を獲得する。
- ②アカデミアゼミでの研究を進める。
- ③さまざまな文章表現を、場面に応じて使い分けることができるようになる。
- ④日本での就職を目指すための講座を通じ、多くの企業や業界について理解する。
- ⑤自分の日本語を繰り返しモニタリングすることで、説得力のある談話能力を獲得する。
- ⑥日本語能力試験 N1 合格を目指して学修を進め、受験に挑戦する。

4 年次秋期

全学共通

- ①アカデミアゼミで研究の総決算となる発表を行ない、卒業研究または卒業論文を完成させる。
- ②進路を確定させる。

<グローバル英語コース>

- ①就職後に業務の上で活用できるレベルの英語力獲得を目指す。

<中国語中国文化コース>

- ①卒業後の進路を見据えて、より実践的に中国語による自己表現力を身につけ、発信できるようにする。

<教員養成コース>

- ①教育現場におけるさまざまな体験を通して、教職実践力の向上を図る。

<人文総合コース>

- ①各自が研究成果を公表することで、日本文化の諸相を理解しあう。
- ②成果を効果的にプレゼンテーションできる能力を修得する。

<国際日本コース（留学生）>

- ①適切な日本語表現を用いて、さまざまな課題を遂行する能力を獲得する。
- ②アカデミアゼミでの研究を進める。
- ③さまざまな文章表現を、場面に応じて使い分けることができるようになる。
- ④日本での就職を目指すための講座を通じ、多くの企業や業界について理解する。
- ⑤自分の日本語を繰り返しモニタリングすることで、説得力のある談話能力を獲得する。
- ⑥日本語能力試験 N1 合格を目指して学修を進め、受験に挑戦する。